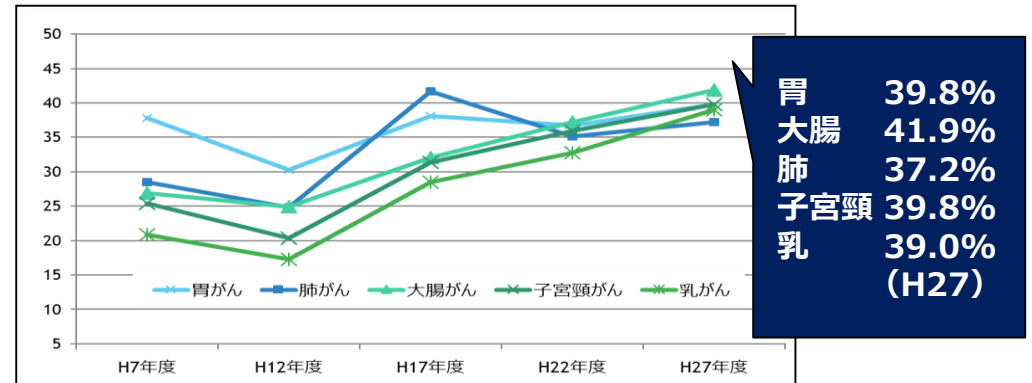


調査実施背景

「東京都がん対策推進計画（第二次改定）」（平成30年3月、計画期間：平成30～35（令和5）年度）におけるがん検診受診率の目標値 50%

- がん検診の受診機会には、区市町村、職域、医療として実施される検診相当の検査、人間ドック等での個人的受診等があるが、都には事業所や医療機関が多く存在するため、職域及び検査・人間ドック等による医療機関での受診機会が他道府県より多い傾向にある。
- 健康増進法に基づき区市町村が実施するがん検診を効果的・効率的に推進し、がん検診受診率50%を達成するためには、がん検診の対象者を正確に把握する必要がある。

がん検診受診率（都内） ※前回（H27）の当調査結果



調査目的

区市町村が実施するがん検診を効果的・効率的に推進するため、同検診の対象となる人口を正確に把握することを目的とし、昭和60年から5年ごとに実施している。

活用方法

- 1 都民の胃・大腸・肺・子宮頸・乳がん検診の受診率を把握し、東京都がん対策推進計画（第二次改定）（平成30年3月）における「がん検診受診率50%」の目標達成状況进行评估する。
- 2 都民のうち区市町村が実施するがん検診の対象となる者の割合を区部・市町村部（島しょ部を除く）・島しょ部ごとに対象人口率として算出し、令和3年度以降の「東京都におけるがん検診精度管理評価事業」での受診率をはじめとしたプロセス指標の算出に当該対象人口率を用いる。
- 3 都民のがん検診の受診状況を性・年代別等に集計・分析し、実態を把握することで、都のがん検診普及啓発事業の効果検証の一助とし、今後のがん検診の受診率向上等に向け、効果的な施策展開のためのデータとする。

「区市町村が実施するがん検診の対象者」の考え方

胃がん検診：50歳以上の男女      大腸・肺がん検診：40歳以上の男女  
子宮頸がん検診：20歳以上の女性      乳がん検診：40歳以上の女性

除外

- 職域で検診機会がある者
- 医療の中で検診相当行為を受けた者
- 個人的に検診を受けた者（人間ドック等）
- 事実上検診を受けられなかった者（入院中・出張等）

区市町村が実施するがん検診の対象者

調査概要

- 1 調査対象  
令和2年3月31日現在において、都全域（島しょ部を除く）に住む満20歳以上の女性及び満40歳以上の男性
- 2 標本数：18,000人
- 3 調査方法：郵送配付・郵送またはインターネットによる回収（回収率は30%を想定）
- 4 抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- 5 調査項目  
（1）回答者の基本属性（性別、年齢、加入している健康保健の種類、居住自治体）  
（2）平成31年度（令和元年度）（胃・子宮頸・乳は平成30年度も含む）の胃・大腸・肺・子宮頸・乳がん検診の受診機会、検査方法  
（3）（2）の検診を受診しなかった場合、その理由

前回調査（H27）からの主な変更点

「訪問留置・訪問回収」から「郵送配付・郵送またはインターネットによる回収」とする。

【理由】

- 昨今の個人情報保護意識の高まりや、統計調査への協力意識の希薄化、防犯意識の高まり、共働き世帯や単身世帯等の不在世帯の増加、オートロックマンションの増加等により、調査対象者への訪問員の接触が年々困難になっている。
- 若年や40・50代の「働き盛り世代」からの回答を多く得て、性・年代別の回答割合が実際の都の人口分布と近似になるよう、郵送とインターネットによる回答の選択制とする。

スケジュール（予定）

R2					R3		
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約手続	標本抽出、住基閲覧 調査票等作成		調査実施	集計・分析、報告書作成			報告書印刷 公表